

## 補助金について

財団では、地下水の適正使用を促進するため、熊本地域に設置する量水器・自噴井止水バルブに対し、補助金を交付しています。止水バルブはこまめに開閉することで無駄な地下水の流出を防ぐことができます。

※熊本県地下水保全条例では、排出口の断面積が一定以上の揚水設備を備えている地下水採取者には、水量測定器(量水器)の設置を義務付けています。



量水器は新規設置に加えて取替えも補助対象となります。量水器・自噴井止水バルブの設置・取替えをご検討の際には事前に財団までご相談ください。

補助金交付は設置前に申請が必要です。

### ●量水器1基あたりの補助金額(上限)

量水器口径(mm)	新規限度額	取替限度額
口径が ≤ 30mm	35,000円	8,000円
30mm < 口径が ≤ 40mm	40,000円	10,000円
40mm < 口径が ≤ 50mm	125,000円	31,000円
50mm < 口径が ≤ 75mm	150,000円	37,000円
75mm < 口径が	200,000円	50,000円

### ●止水バルブ1基あたりの補助金額(上限)

新規で取り付けの場合	50,000円
------------	---------

※止水バルブの取替えに伴う補助は行っておりません。

詳しくは当財団のホームページをご覧ください。

- 補助対象者など
- 熊本地域内に井戸を所有する住民・企業等
  - 4/1～翌年3/31までに設置工事が完了
  - 前回補助金を受けた者は、10年を経過することただし、設置場所が異なる場合は除く

## 会費及び寄付について

### 会費・寄付は税制上の優遇措置の対象となります

財団への会費及びご寄付は、「特定公益増進法人」が行う公益目的事業を支援するための寄付金として取り扱われ、税制上の優遇措置の対象となります。

詳しくは所轄税務署や国税庁のホームページ等にて確認、または、税理士等にお尋ねください。

### 会費・寄付は地下水かん養量として報告できます

熊本県地下水保全条例第33条第1項において定める地下水涵養指針において、「重点地域(熊本地域)内の許可採取者は、事業活動に伴う地下水採取量を正確に把握したうえで、(中略)年間採取量の1割に相当する量を目標涵養量とし、地下水涵養に取り組むものとする。」と記載されています。敷地内外のかん養などの取組みが困難な場合は、当財団へ寄付等の協力を行うことでも、地下水かん養に取り組んだこととなります。

地下水涵養指針については「水の国くまもと」のホームページをご覧ください。(水の国くまもと <https://mizukuni.pref.kumamoto.jp>)

会費・寄付金は地下水かん養事業や水質保全事業など地下水保全のために、大切に使用させていただきます。

## 編集後記

この度、くまもと育水会会員の皆さまに、当財団の地下水保全事業の取組み状況を紹介したく、事業内容報告を充実させた「くまもと育水会Vol.15」を発行しました。今までは年2回の発行でしたが、今年度からページ数を増やし、凝縮版になりました!新たなバージョンはいかがでしたか?当財団も設立から8年目となり地下水保全事業の拡大とともに、試行錯誤しながら啓発等も行っていきます。これからも会員の皆さまに熊本の地下水についての情報をお伝えできればと思いますので、よろしくお願いたします。

また、今年は「第4回アジア・太平洋水サミット」が開催されます。サミットでは住民、事業者、行政が一体となった熊本地域の地下水保全活動についてPRしていきます!令和2年度もよろしくお願いいたします!

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Sustainable Development Goals (SDGs)とは2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。(外務省ホームページより)

詳しくは「くまもと地下水財団」で検索

くまもと地下水財団

検索

<https://kumamotogwf.or.jp/>



# くまもと育水会

Kumamoto Clear Water Alliance



### ●令和元年8月1日/平成30年度認定企業顕彰式

(右から)大西理事長、(ブロンズ認定)千代田工業株式会社様、(シルバー認定)内村酸素株式会社様、(最優秀グランプリ)ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 熊本テクノロジーセンター様、(シルバー認定)コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 熊本工場様、(ブロンズ認定)水道町親和会様、地下水保全顕彰委員会 篠原委員長

## 令和元年度地下水保全顕彰制度

令和2年1月21日に地下水保全顕彰委員会を開催し、審査の結果以下のとおり令和元年度の認定企業・団体が決定しました。今後、認定書交付式や新聞広告などでも認定企業等の地下水保全活動をPRしてまいります。(敬称略)



公益財団法人  
熊本市上下水道  
サービス公社

ゴールド認定

株式会社弘乳舎  
熊本防錆工業  
株式会社

シルバー認定

熊本タクシー株式会社  
KMバイオロジクス株式会社  
ザ・ニューホテル熊本  
有限会社岩津塗装

ブロンズ認定

## CONTENTS

- 2 特集  
2020年10月熊本市で「第4回アジア・太平洋水サミット」開催
- 4 江津湖湧水量調査 / 減水深調査 / 防災井戸水位調査 / 水田オーナー制度
- 5 育水の森調査 / 地下水質調査 / 熊本地域湧水調査  
令和元年度 会議報告 /
- 6 冬期湛水 / 育水の森整備 / ウォーターオフセット
- 7 シンポジウム / バスツアー / 新規会員様ご紹介



かけがえのない  
熊本地域の地下水を未来に



公益財団法人  
くまもと地下水財団 理事長  
大西 一史 (熊本市長)

特集

## 2020年10月 熊本市で「第4回アジア・太平洋水サミット」開催

2020年10月19日～20日に熊本市でアジア・太平洋水サミットと熊本市の共催により「第4回アジア・太平洋水サミット」が開催されることとなり、住民・事業者・行政等が連携・協働した地下水保全の取り組みを世界に発信する機会としても注目されています。

大西一史理事長に、熊本市で開催する水サミットの意義や地下水保全の取り組みについてくまもと経済でインタビューされた内容を紹介します。



第4回  
アジア・太平洋水サミット  
公式ロゴマーク

### アジア太平洋地域49カ国の首脳級が集まる国際会議

— 2020年10月に熊本市で開催される「第4回アジア・太平洋水サミット」とは、どのような会議でしょうか

大西 アジア太平洋地域の49カ国の首脳級が参加するハイレベルな国際会議です。アジア太平洋地域における急速な人口増加や経済発展の中で、気候変動による水不足や公害による水質汚濁、洪水被害の増大など、あらゆる水に関する課題が出て来ています。水サミットではこうした水に関する諸問題を取りまとめ、世界の優先課題として提起するとともに、地域の英知を結集し、課題の解決を図るもので、これまでに3回開催されています。



第2回APWS 首脳級参加者  
(写真提供:日本水フォーラム)

— 過去のサミットでの論議の内容は

大西 第1回は、2007年に大分県別府市で開催され、持続可能な社会・経済の発展のためには、水問題の解決を図ることが最優先であることが再確認されています。第2回は、2013年にタイで開催され、水と衛生を国家政策の優先事項に定め、災害リスクの低減をSDGsに盛り込むよう国際社会に発信しています。第3回は2017年にミャンマーで開催され、アジア太平洋地域の全ての人々に、飲料水と基本的衛生設備を提供するなど、持続的な発展の道筋として「ヤンゴン宣言」を採択しています。



第3回APWS 分科会  
(写真提供:日本水フォーラム)

— 第4回のテーマは

大西 「持続可能な発展のための水～実践と継承～」です。持続可能な発展は、私たちが最優先で取り組むべき課題です。貧困、栄養と食糧、保健、教育、経済成長、都市、防災、環境、気候変動、安全保障などの諸問題は、あらゆる分野で水問題と複雑に関連しています。これらの諸問題の解決を図るための取り組みを、速やかに実践・実行しながら、次の世代に世界の水環境保全を確実に継承していく必要があります。このようなことから、今回のテーマを設定しています。

### 熊本は地下水保全、水に関する法整備の先進地域

— 水サミットが熊本で開催される意義は

大西 熊本地域(熊本市を含む11市町村)の地下水は市町村の区域を超えて共有され、生活用水だけでなく、農業や工業用水としても使われています。熊本地域では2012年に「公益財団法人くまもと地下水財団」を設立し、地下水を共有する熊本地域や県が行政区域を越えて連携・協働し、さらに住民や事業者も参画し、地下水の保全に取り組んでいます。このすばらしい財産である地下水を、持続可能な形で未来に残していくための地域が一体となった地下水保全の取り組みは世界に発信できると思います。

また、水は河川、農業用水、水道、産業、環境、いろいろな分野で関係しており、それぞれに法整備が行われ、2014年には水循環に関する基本理念を定めた水循環基本法が制定されました。地下水が生活にとって欠かせない資源である熊本市ですら、1977年に熊本市「地下水保全条例」が制定され、翌年の1978年には「熊本県地下水条例」が制定されています。地下水保全に関する条例については先進地域でもあり、国の法整備についても我々の条例が影響を与えたと思っています。また近年は大型の台風や集中豪雨が頻発し、いつ、どこで災害が起きるか分からない状況ですが、江戸時代には堤防や水路などの治水整備によってこれらを克服してきました。特に熊本では土木の神様と言われる加藤清正公が残したかんがい施設が世界かんがい施設遺産に登録されるなど、世界的に評価されています。歴史的にも価値の高い施設を多く有するとともに、日本の水インフラの整備は高度な技術で安全な飲み水を確保しています。このような伝統的な技術と世界最先端の技術は、世界に伝えることができると思います。

### 熊本地震の教訓を世界に発信

— 「平成28年熊本地震」では「当たり前にある水のありがたみ」を知りました。自然災害の経験や体験、また保全活動についても世界にPRしていくのでしょうか

大西 熊本地震前は、蛇口をひねれば、当たり前のように上質で清れつな水が流れていましたが、熊本地震後は多くの住民が断水などを経験し、水のありがたさを知ったと思います。

地震時には、自社の井戸水を近隣住民に提供した企業も多くありました。熊本地震後の教訓として、いろいろな企業の皆さんが災害時に活用される「災害用井戸」などを設置されました。熊本市では、災害等で広域的な断水が発生した場合、企業などが所有する井戸水を地域住民に無料で提供する災害用井戸

について協定を締結しています。地下水に恵まれた地域だからこそその対策ではありますが、この活動なども世界にPRしていきたいと思っています。

また、江津湖の湧水量は1960年頃には、日量80万トン以上でしたが、2005年には36万トンと極端に減りました。現在は約48万トンまでやや回復したものの、1960年頃の約半分しかない状況です。地下水を守るため、熊本市や企業が白川中流域(大津町、菊陽町、熊本市の一部)の転作田に水を張る湛水事業や水源かん養林整備、1人1日あたりの生活用水使用量210ℓを目指す、節水210運動などを実施し、くまもと地下水財団でも地下水の調査研究事業や水質、水量の保全活動を住民、事業者と一体となって推進しています。こうした地下水を後世に守り伝える絶え間ない取り組みもPRしていきたいと思っています。

### 豊かな熊本の地下水を次世代に継承

— 最後に、熊本の地下水を利用している方々にメッセージを

大西 21世紀の地球環境の問題は、地球温暖化をはじめとした気候変動で、洪水、干ばつ、水質汚濁、海面上昇など水の姿で現れ、世界の人々と生態系に大きな影響を与えています。とくに水は代替不可能なエネルギーであり、多くの国で「水」の利用や保全について課題となっています。しかし熊本は何十年も前から地下水を利用する住民、事業者、行政等が一体となって地下水を守る取り組みを行っています。

今、私たちは先人達が育んできた地下水の恩恵を受けて生活しています。生活環境の変化や都市化の進展など、熊本の地下水を取り巻く環境も変化する中で、50年後、100年後の子どもたちや孫たちの時代にも、豊かな熊本の地下水を継承し、持続可能なものにしていけるように一緒に取り組んでいきたいと思っています。そのきっかけとして、アジア・太平洋水サミットにご注目いただき、熊本の水について考える機会になってほしいと思います。

### 熊本市からのお知らせ

#### 「世界水の日」イベント開催

第4回アジア・太平洋水サミットの開催を記念して、2020年3月22日に「世界水の日」イベントを開催します。「世界水の日」は、国連総会で定められた日で、水がとても大切であること、きれいで安全な水を使うようにすることの重要性について、世界中の人々と一緒に考えるための日です。このイベントでは、世界の水事情に関する興味深い話が満載ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

開催日 令和2年3月22日(日)  
時間 午後1時半～4時  
会場 肥後銀行本店ビル大会議室



第4回アジア・太平洋水サミット  
開催1年前イベントの様子

●イベントの詳細は、熊本市ホームページに掲載します。

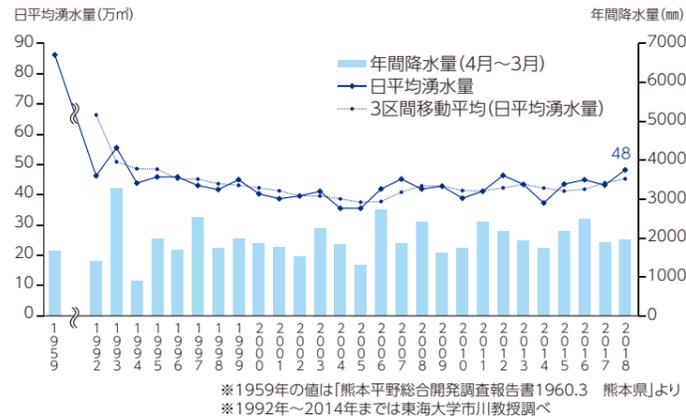
水サミット 熊本市

検索

# 令和元年度も、 皆さまの会費や寄付により、様々な地下水保全活動を行うことができました

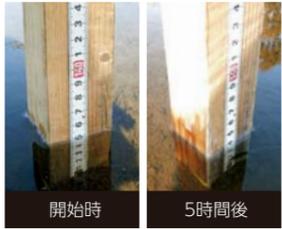
## 江津湖湧水量調査

平成27年度から月に1回、江津湖の湧水量調査を行っています。1959年に熊本県・熊本市が行った調査では、江津湖の日平均湧水量は80万㎡以上と報告されていますが、平成30年度の調査では約48万㎡でした。江津湖の湧水量の推移は、熊本地域地下水総合保全管理計画の行動計画にも掲載されており、地下水の動向を確認する上でも重要な調査と位置付けていますので、今後も継続的に調査していく予定です。



## 減水深調査

湛水事業によるかん養量を把握するため、水を張った水田から1日どれくらいの水が浸透するかを財団で調査しています(減水深調査)。今年度は大津町真木地区、御船町南田代第3地区で調査を行いました。いずれの地域も一日当たりの減水深が高く、今後、調査結果を基に冬期湛水実施期間のかん養量を算出していきます。



## 防災井戸水位調査

平成29年から肥後銀行にご協力いただき、肥後銀行が設置している防災井戸8箇所において、熊本大学と共同で地下水位調査を行っています。この調査によって、データが少なかつた深さの水位を観測し、熊本地域の水位データの蓄積を行っています。



## 水田オーナー制度

令和元年度は7企業・団体と4個人が水田オーナーとなり、6月の田植え、10月の稲刈りに総勢430人が参加し、水稲栽培を通じて約33,000㎡の地下水が育まれました。「農で地下水を育む」仕組みを学べるクイズなども実施し、家族や同僚、友人との交流を深める機会として、また収穫したお米を味わう食育の機会としても大変喜ばれました。

- 参加企業** (加入順、敬称略)
- 熊本市管工事協同組合青年部会
  - (株)テレビ熊本
  - (公財)熊本市上下水道サービス公社
  - 熊本県環境保全協議会
  - 西部瓦斯(株)
  - NOK(株)熊本事業場(令和元年度から参加)



## 企業・団体・個人オーナー募集中

企業PR看板の製作・設置は当財団が行います。詳細は財団事務局にお問合せください。皆さまのご参加をお待ちしております!



## 育水の森調査

財団が西原村に所有する水源かん養林「育水の森」では、森林の水源かん養効果の調査を九州大学と共同で実施し、地下水のかん養量や森林整備の違いによる土壌の違いなどを調査しています。

森林は降った雨を地下に浸透させ、一部は地下水となり、それ以外はゆっくりと流出させることで、洪水を防ぐこともできます。流出量の調査や土壌調査を実施し、森林の水源かん養効果の把握を図ります。



## 地下水質調査



平成25年度から水質の季節変動や経年変化を把握するため、水道水源の水道水質基準項目と地域の地下水環境特性把握のための分析項目を併せた詳細な水質調査を熊本大学と共同で調査しています。毎年度初めに、前年度の調査結果を採水にご協力いただいている自治体の水道局や環境部門にも報告し、熊本地域の水質について情報共有を行っています。

## 熊本地域湧水調査

昭和59年に熊本の湧泉研究会が調査した湧水地の情報を基に、湧水の現況調査を実施しています。今後、水質調査等実施し、水量や水質の現状を把握し、熊本地域の魅力を発信や利活用につなげていきます。



湧水が枯れていたり、使用されなくなった湧水地もありましたが、写真のように30年前と変わらず、整備されている湧水地も多く存在していました。

## 令和元年度 会議

### ●第1回 通常理事会

令和元年5月23日KKRホテル熊本にて、「令和元年度第1回通常理事会」を開催しました。議事事項は以下の通りです。

#### ■議事

- 議案第1号 平成30年度事業報告及び決算(案)について
  - 議案第2号 令和元年度予算の補正(案)について
  - 議案第3号 令和元年度定時評議員会の招集(案)について
  - 議案第4号 くまもと地下水会議委員の選任(案)について
- すべて原案のとおり承認されました。

### ●第2回 通常理事会

令和2年2月6日ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイにて、「令和元年度第2回 通常理事会」を開催しました。議事事項は以下の通りです。

#### ■議事

- 議案第1号 令和元年度予算の補正(案)について
  - 議案第2号 令和2年度事業計画(案)について
  - 議案第3号 令和2年度予算(案)について
  - 議案第4号 財団規程等の一部改正(案)について
  - 議案第5号 財団寄付金取扱規程(案)について
- すべて原案のとおり承認されました。

### ●定時評議員会

令和元年6月7日KKRホテル熊本にて、「令和元年度定時評議員会」を開催しました。議事事項は以下の通りです。

#### ■議事

- 議案第1号 平成30年度決算(案)について
  - 議案第2号 評議員及び役員を選任(案)について
- すべて原案のとおり承認されました。

### ●学術顧問会議

令和元年12月17日、「令和元年度学術顧問会議」を開催しました。会議では令和元年度の事業中間報告や令和2年度事業計画案について説明し、今後の財団事業に対して顧問の先生からご意見をいただきました。



学術顧問:  
市川勉顧問、内野明徳顧問、川越保徳顧問、篠原亮太顧問、嶋田純顧問、田中浩二顧問、長野克也顧問

## たんすい 冬期湛水



平成24年度から冬期湛水事業を実施しています。令和元年度は5町村8地区で約30haの湛水事業を実施しています。今年度は、御船町南田代第3地区が新規に始まりました。



## 育水の森整備



財団が西原村に所有する水源かん養林「育水の森」の森林整備を実施しています。今年度は約3haの間伐と作業道整備を実施しました。間伐により、林内に太陽光が届くようになりました。間伐により森林環境が改善されることで、降った雨が森林の土壌へ浸透する量も多くなり、水源かん養効果も高まります。

## ウォーターオフセット



ウォーターオフセット事業は、地下水を育む田畑で栽培された農産物(農産加工品)や、それを食べて育った畜産物を購入・消費することによって、使用した地下水量をまかなう取り組みです。

### 匠の味噌・塩こうじ・紫芋甘酒

地下水かん養域の農産物を原料にした匠の味噌・塩こうじ・紫芋甘酒。好評販売中!

販売/株山内本店様 (令和2年3月31日まで)



### えこめ牛

地下水かん養米を給餌した「えこめ牛」の消費拡大は、地下水を育む水田の保全につながります。

販売/JA菊池様

### 地下水を育む米

今年度も当財団が仲介販売を行い、38社の皆さまより2,537kgのご注文をいただきました。これは熊本地域の地下水50,740m<sup>3</sup>のかん養に貢献したことになり、ご購入量に応じた「かん養量証明書」を発行しました。

仲介販売/地下水財団にて期間限定(毎年10月~11月頃)受付



## EVENT

水道町の「ヴィラージュ祭り」で「水の恵み米」「えこめ牛」「熊本県産野菜」等を使用したメニューや抽選会を通して多くの方にウォーターオフセットを知っていただくことができました。



社食でのご利用も募集中!!

## 地下水を育む米注文 企業・団体名

(敬称略五十音順)

医療法人回生会  
リハビリテーションセンター熊本回生会病院  
医療法人社団上野会 熊本博愛病院  
医療法人社団豊徳会 豊田消化器外科医院  
大津菊陽水道企業団  
大津町役場  
株式会社アクアテック  
株式会社上田商会  
株式会社宇佐美工業  
株式会社九州開発エンジニアリング  
株式会社興徳企業  
株式会社弘乳舎  
株式会社セイブクリーン  
株式会社水の社アイリープ

株式会社山内本店  
熊本県庁  
熊本市管工事協同組合  
熊本市上下水道局  
熊本市役所  
熊本総合鉄工団地協同組合  
KMバイオロジクス株式会社  
公益財団法人熊本市上下水道サービス公社  
公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金  
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社  
熊本工場  
三信電子株式会社  
宗教法人出水神社  
セイブ管工土木株式会社

千代田工業株式会社  
東邦設備株式会社  
西川設備工業株式会社  
富士フィルム九州株式会社  
三菱電機株式会社パワーデバイス製作所  
熊本事業所  
三菱電機ライフサービス株式会社  
有限会社インターフェイス  
有限会社北村プレス工業所  
有限会社七城観光バス  
有限会社武蔵設備工業  
ルネサスセミコンダクタ  
マニファクチュアリング株式会社 川尻工場  
ワタキューセイモア株式会社 熊本営業所

## シンポジウム



### 「水の日記念シンポジウム ~かけがえのない熊本の地下水を未来に~」を開催しました

令和元年8月1日、水の日記念シンポジウムを開催し、約120名にご参加いただきました。リレー講演会では、ジェトロ・アジア経済研究所上席主任調査研究員の佐藤 寛様、肥後銀行サステナビリティ推進室長の大野 隆様より、SDGsをテーマにそれぞれの立場で講演いただきました。

パネルディスカッションでは、引き続き「SDGs時代における持続可能な地下水利用」をテーマにコーディネーターに佐藤 寛様、パネリストに大野 隆様、富士フィルム九州株式会社の高木 秀樹様、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社の小原 啓志様をお迎えし、地下水保全活動やSDGsへの具体的な取り組みを紹介いただき、活発な意見交換が行われました。今回のシンポジウムは、熊本の大切な資源である地下水を保全するための企業等の環境保全活動や地域貢献活動が、SDGsにつながる取り組みとなり、更に国際的な評価にもつながることや、地下水を未来に引き継ぐ重要性について改めて認識する場となりました。



佐藤様による講演「SDGsと私の暮らし ~環境と社会と経済のつながり~」



大野様による講演「持続可能な社会づくりに向けた取り組みについて」



パネルディスカッション「SDGs時代における持続可能な地下水利用」

## バスツアー



### 子ども向けバスツアー

令和元年9月21日子ども向けバスツアーを開催しました。今年度は「地下水の始まり?!阿蘇を見るツアー」と題し、白川水源の見学やそば打ち体験、阿蘇火山博物館での勉強を行いました。子どもたちには、熊本の地下水について勉強・体験した楽しい思い出とともに、いつまでも熊本の地下水を大切に思っていれば幸いです。



阿蘇火山博物館で学ぶキッズ会員

### 大人向けバスツアー

令和元年11月15日「地下水保全企業と湧水地見学!」と題したバスツアーを開催しました。

地下水保全活動に取り組むハイコムウォーター株式会社の南阿蘇工場や塩井社水源(南阿蘇村)、そして当財団が所有する西原村の水源かん養林や冬期湛水事業を見学していただきました。



塩井社水源(南阿蘇村)を見学

## 新規会員様ご紹介



平成31年1月から令和元年12月までにご加入いただきました会員の皆様をご紹介します (敬称略)

### 企業・団体

株式会社ナカガワフーズ  
有限会社岩津塗装  
社会福祉法人託麻会  
NOK株式会社 熊本事業場  
九国ベジフル株式会社  
有限会社東稜設備工業  
株式会社トーヤハウス  
国際航業株式会社 熊本営業所  
熊本防錆工業株式会社  
熊本タクシー株式会社

### 個人

坂本 絢香 緒續美智子  
福屋 豊 堂園 洋昭  
森元 博之 藤本 泰二  
橋本 有毅 北村 彦彦  
小林 賢治 木村 利信